

令和6年度 第1回まちづくりミーティング

日時：令和6年8月19日（月）11：00～11：45

場所：福知山市役所3階 301会議室

団体：京都生活協同組合 両丹ブロック

○主な話し合いの内容

市長： 京都生協様とは定期的にまちづくりミーティングを実施させていただいており、いろいろな取り組みを聞かせていただいているほか、また新たな取り組みにも様々チャレンジをされており非常にうれしく思っている。

また、生き物学校を実施していただいたほか、買い物支援や認知症の問題などもあり人口減少が進んでいる中、現場を見ていただいている皆様から日々の業務を通じて、このようなことをやった方がいいのではないかなどの意見を市としてもいろいろな連携により知ったうえで、事業を進めていきたいと思っている。

皆様と話をさせていただけることが非常に楽しみである。

団体： 京都生協は60周年を迎えるにあたり、ロゴマークを作成している。意味としては、組合員の意見をしっかりくみ取り、地域との連携を大切にしたいという気持ちを込めている。今後も福知山市ともしっかり連携して進めていきたいと思っているので、よろしくお願いします。

団体：～京都生活協同組合両丹ブロックの昨年度活動状況及び今年度重点課題、併せて通常総代会議案書の説明～

【説明に関する意見交換】

団体： 今年から福知山において、夕食サポート（配食サービス）を実施する予定であるが、亀岡以南では既に実施している。その中で毎日配達に同じ職員が行くことで小さなことにも気づくことができる点が非常に良いと感じている。

市長 お互いに顔を合わせることは、特にお一人暮らしの方にとって、うれしいと思う。

団体： コープファンミーティングは、今までは京都市内でのみで実施していたが、今年度初めて北部で開催することになり、会場を三段池公園のサブアリーナとする予定である。

市長： このコープファンミーティングはメーカーの方々も参加するものか。

団体： 25社程度のメーカーにも参加していただき、試食や体験をしていただくことで楽しみながら参加してもらおうイベントで予定している。

市長： 体験することですごく学びもあると思っている。

初めて北部で開催していただくので、盛況となることを願っている。

団体： 9月にはダブルケアに関する講演会を社会福祉協議会後援のもと開催する予定である。ダブルケアの問題については、あまり浸透しておらずこれからの課題であることを認識している。福知山市内でのダブルケアの状況はいかがか。

市長： 人数について、把握しているわけではないが、個人的にも体験している方々から話を聞くこともあり、これから本市においても増えてくると感じているところである。

団体： ダブルケアについて知っていただくことと、実際にダブルケアをされている方同士の交流が重要であると考えている。今までにもダブルケアを経験されている方もいらっしゃると思うが、「ダブルケア」という言葉がなかった。

市長： 話を聞いて知っていただくことは非常に重要であると考えている。また、お互いに話を共有することで精神的負担を和らげることもできると思う。ダブルケアや包括ケアなどの言葉も最近出てくるなど、社会の情勢が変わってきているように感じている。

団体： 認知症サポーター研修については、福知山市の職員も講師として参加していただく予定だが、先ほども伝えていた小さなことにも気づくことができるように、宅配の職員が研修を受ける予定としている。既に配達の職員が異変に気づき、ご家族に連絡をしている場面もある。

市長： 今までは認知症という診断を受けると「周りに言いたくない」という方も多くいらっしゃると思うが、ひとりひとりの個性であることや、これからの高齢化社会のこと等を考えるとそれは変えていかなければならないことだと思っている。

団体： 最後に子育て応援に関するグッズ等を紹介させていただく。

